

第5学年 組 社会科学学習指導と評価の案

日時：平成16年度10月8日

場所：5年 組教室

授業者：松本 優

1. 単元名「わたしたちの生活と工業生産～自動車をつくる工業～」

2. 本時の目標

シートを作る工場では、1つのラインで同じシートを生産した方が簡単なのに違うシートを作っているのは消費者の要望に合わせるためや効率的な生産をするためだということに気づく。

3. 本時の評価規準

思考・判断 1つのラインで違うシートを作っている理由を、資料1・2では消費者の要望から、資料3では効率的な生産をすることから、既習内容や資料を通して考えることができる。

4. 本時の展開

過程	主な学習活動	学習 集団	個のつまずきに対する指導・援助
つかむ	<p>シート工場では、同じラインでどんなシートが作られているか予想させることから、前時のまとめとの意識のずれを起こす。</p> <p>S.「同じラインなのになんで違うシートを作っているのかな？」</p> <p>S.「同じシートを作った方が簡単なのに何でいろいろな種類のシートを作っているのだろう。」</p>	全体	<p>同じラインで違うシートを作ることが大変で、手間がかかることに気付けないために、課題に結びつかない。 (発言反応で評価)</p> <p>「同じシートをずっと作るのと、違うシートを作るのではどんな違いがあるかな？」と問い、同じラインで違うシートを作る大変さや手間に気付かせる。</p>
追究する	<p>本時の課題を設定する。</p> <p>同じシートを作った方が簡単なのに、いろいろなシートを作っているのはなぜだろう？</p> <p>課題に対しての理由を予想する。</p> <p>S. きっと買う人が選べるようにいろいろなシートを作っているんじゃないかな？</p> <p>S. 儲けるにはいろいろなシートを作った方がいいのかな？</p> <p>資料から課題を追究する。</p>	個人 小集団 (資料別)	<p>資料が選択できないために考えが作れない。 (ノートや交流の様子で評価)</p> <p>どの資料で調べてみたいか一緒に考え、事実を見つける。 「1つのラインでいろいろなシートを作るのと1つのラインで1種類のシートを作るのはどっちが簡単？でも、いくつかのラインを作るとどうなるの？」などと問い返す。</p>
交流する	<p>資料1 消費者が車を購入するときの流れ</p> <p>資料2 組立工場と関連工場とのつながりの図と指示書</p> <p>資料3 経営者の話</p>	全体	<p>資料1から車を購入するときの流れやシートの色・材質を選択できることはわかるが、なぜたくさんの種類があるのか考えることができない。 (ノートで評価)</p> <p>「さまざまなシートがあるといいことがあるの？」S「買う人の好みで選ぶことができるし、選択できたほうがお客さんが買いたいと思えるから。」などと話をしてノートに書かせる。</p>
まとめる	<p>調べたことをもとに意見交流する。</p> <p>S. 買う人によってほしい車やシートが違うからそれに合わせてつくっているからだと思います。</p> <p>S. 必要な自動車を必要な分だけしか作らないからだと思います。</p> <p>S. さまざまな種類のシートがあることで買う人の好みで選択できるからです。</p> <p>S. シートの種類ごとにラインがあると作るのは簡単になるけど、ラインを作るために必要な場所を用意するのが大変だからです。</p> <p>S. ラインを増やすとその分の機械代や働く人の給料が必要になってくるので儲からなくなるからだだと思います。</p> <p>S. 1つのラインで違うシートを作るのが大変でも、お客さんに喜んでもらうためや会社のために1番良い方法だからです。</p>	全体	<p>自分が調べられなかった資料から分かることを、友達の見解や板書を通して理解できない。 (発言で評価)</p> <p>「今、Aさんが～と聞いていたけど、あなたはどっ思う？」「黒板を見てごらん。今日の学習で大切なことは何かな？」などと尋ね、大切なことを何度か話させる。</p>
	<p>感想を書く。</p> <p>S. 今日分かったことだけど、車はとても高い買い物だから買う人の好みや希望に合わせて作るの大切さ分かりました。</p> <p>S. できるだけ簡単に作れたらいいけど、場所やお金には限りがあるから、1つのラインでいろいろなシートを作るように工夫していてすごいなあと思いました。</p> <p>自己評価をする</p>	個人	<p>本時のまとめが書けないでいる。 (ノートで評価)</p> <p>板書を確認させたり、友達の話を取り返らせたりして、本時からとらえさせたい内容を書かせる。</p>